

# YAMAKADO NEWSLETTER

NO.136

2011/03/15

山門水源の森を次の  
世代に引き継ぐ会

東北地方太平洋沖地震・被災されたみなさんにお見舞い申し上げます

## 春遠からじ

雪解け進む湿原・展望場から(11/03/06)

久々の豪雪であった今冬も、ようやく春の兆しが見受けられるようになった矢先に「東日本巨大地震 M9.0」が発生した。地球上で発生する地震規模としては、最大級のものである。もちろん過去の日本の記録にもない大地震である。本号のトップ見出しを「春遠からじ・心躍る・・・」としていたのだが、不謹慎きわまりないと「春遠からじ・・・」に急遽変更した。戦前に生を受けた編集子からすれば、「耐える生活」も当然の成りゆきかとも考えている。余りにも勝手気ままを謳歌しすぎたのではないか。被災者とともに「春はいつか来る」

ブナの森付近のナラ枯れ(11/03/13)

と思いつつ頑張ろうではありませんか。左の画像は、「ブナの森」付近のナラ枯れの状態です。このように悲惨な森になってしまっていますが、もう 10 年もすれば樹種は異なるかも知れないが、緑は回復するはず。今回の大災害も自然の回復力に学びつつ、日本本来の身の丈にあった姿に再生したいものです。同様に 10 周年を迎えた「山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会」も、身の丈にあった保全活動を着々と前進させたいものです。

枝打ち・間伐作業(3/06)

「山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会」

<http://www.digitalsolution.co.jp/nature/yamakado/>

## 春の兆し

今冬の湿原での最深積雪は2月1日の **216 cm** でしたが、3月13日には50 cmにまで融雪が進みました。「守護岩」では、測定最深が2月2日の **242**



水路に沿って融雪が進む(11/03/13)



融雪の一滴



ブナの根元の融雪



216cm・11/02/01



86cm・11/02/23



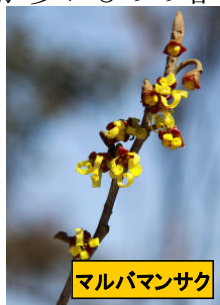
50cm・11/03/13



今冬の守護岩の積雪

2/2の積雪  
↓

足下に未だ1mの積雪(3/13)



マルバマンサク



沢沿いのバイカオウレン(3/13)



ブナ林(3/13)



アツミカンアオイ



葉芽が膨らむブナ(3/13)

沢沿いで融雪の早い部分でいち早く咲き出したのがバイカオウレンでした。今もピンクの蕾が雪の中から顔を出している可憐な状態が見られます。マルバマンサクは、ほぼ全域で咲き始めました。意外なことにブナの森では、残雪が1mもあるにもかかわらず葉芽が膨らんできた株もあります。湿原から下の部分では、日当たりの良いところでは既にアツミカンアオイも開花し、ショウジョウバカマも蕾の先がピンク色に変わっているものも見られるようになってきました。今年のタムシバは、たくさんのつぼみを付けていますが、中

には膨らんだ蕾に僅かに白い花卉の色が見えるものもあります。かくて確実に春は進んでいます。完全に消雪するまでの間は、1日1生きものの姿が変化してゆきます。そんな変化を是非現地で確かめて下さい。自然に魅入っている瞬間は閉塞感から解放されます。ただ未だ森は「冬」も残っています。冬装備でお出かけ下さい。